



12月12日（日）11時過ぎから、本年最後の行事「忘年会、第27回目の高齢者懇親誕生会、健康相談、賛助会員歓迎、岩手の銘酒試飲会、ビンゴ、年末助け合いリッファ、中越地震募金やカラオケ」など多彩なプログラムが組み、参加者も130余名を数えた。

司会多田マウロ氏により、先没者への黙祷から始まり、千田会長の1年間お世話になっ

たお礼、県人会名誉総裁就任について南部の殿様（旧南部藩当主利昭氏、靖国神社新宮司）から内諾を頂いた事、賛助会員数の報告、県産物紹介のお手伝い、中越地震募金への協力お願い、藤村賛助会員から県人会活動費、忘年会お祝い金、賛助会費10年分納入などの報告があった。

次いで、藤村勝巳賛助会員を紹介、同氏は挨拶で県人会に良い制度を設けてもらった。ブラジル訪問の機会が出来た。既に「アマゾン河下り」（マナウス～ベレン間）を経験。広く見聞したブラジル事情を紹介し、又賛助会員の仲間をつくり、再度来ますなどとすっかりブラキチになった様子。

氏は、近々特別養護老人ホームを建設する事から援協の「あけぼのホーム」を視察し勉強した由。

【佐川医師の健康相談も】

高齢者のため特別お願いした健康相談では佐川ガブリエル医師による老人に多い心臓病、糖尿病への予防法、会員からの質疑応答など、約

銘酒『南部美人』で忘年会！



1時間大変有意義なひとときであった。

引き続き田口顧問の挨拶、安倍儀郎相談役の乾杯の音頭で忘年会がスタート。

岩手の銘酒南部美人のPRを兼ね日系新聞社及び東北6県県人会なども招待した。（出席はサンパウロ新聞、ニッケイ新聞、秋田県人会、福島県人会）。

注目の銘酒「南部美人」試飲の結果は、大変飲みやすい、まろやか

か、口中でとろけるようだ、美味しい、etc,etc,との意見多数。東和町出身の菊池達郎さんは懐かしい故郷の味に浸っておられた。用意した銘酒4本は瞬く間に皆さんの酒蔵へ。

青年部のビンゴに続き、9月から12月生まれの高齢者をボーロで祝い記念品も贈られた。

年末助け合いリッファに石井紅夫氏提供の米国製マルチレンジ當選の阿部アイレス君は、賞品を新潟中越地震義援金にと申し出る。レイロンの結果藤村勝巳氏が落札。午後3時過ぎ一応散会し若い人はカラオケを夕刻まで楽しんだ。

★ 会員畑勝喜氏の好意によりVTRの収録が行われた。同氏は映像ビデオのプロで年初より当県人会のため記録を撮り続けている。

★ 尚、銘酒「南部美人」2本は、17日行われた「県連忘年会」に提供され、各県人会参加者らに試飲して頂いた。さすが「美人」だとの評価を受けた。



明けましておめでとうございます

今年も大勢の方々から賀状を頂きました。紙面を借りて厚くお礼申し上げますと共に、本年も宜しくご指導の程をお願い申し上げます。

（敬称略・順不同）

三重県人会、松本定次郎・トミ、増田寛也県知事、TUNIBRA、高橋祐幸、岩崎雄亮NY県人会長、石川県人会、こどもの園、水本エドワードサンパウロ新聞社長、小松電玄JICA所長、苔米地静子、今西嘉英、石田仁宏総領事、岐阜県人会、希望の家、HOT、INT、FOZ、横田パウロSta cruz病院理事長、宮城県人会、VER、WILLIAM WOO、沖縄県人会、埼玉県人会、渡辺勉花巻市長、岩船貢、池崎博文、



工藤久義（海上自衛隊）、岡山県人会、いこいの園、山形県人会、広島県人会、VER、PAULO OYA、滋賀県人会、福岡県人会、阿部正司、和井武一援護協会会長、中村ヤスジ（NY）、福井県人会、ブラジル日本都道府県人会連合会、栃木県人会、大分県人会、菅原圓雄、ふるさと創生協会、熊本県人会、青森県人会、高知県人会、富山県人会、秋田県人会大志田諭岩手日報こずかたセンター社長、山梨県人会、群馬県人会、菊地義治、田口信二、一戸和、佐々木昌文（海上自衛隊）、和美宏幸、吉田恭子、カナダ・イーハート・トロント菊地幸工岩手県人会長、小関浩喜、高橋紀雄金ヶ崎町長、増田稲子、日本文化協会上原幸敬会長。